

総合研究大学院大学 次世代研究者挑戦的研究プログラム 「SOKENDAI特別研究員(挑戦型)」制度による次世代研究者の支援・育成の推進

【プロジェクトの目的と内容】

- 大学共同利用機関を教育研究の場とする本学の特長を活かし、研究分野を限定せず、複合・融合領域や分野を跨いだ研究に挑戦する学生や国際共同研究等を通じて積極的にキャリアパス開拓を目指す意欲的な学生を選抜・支援する。特段に優秀な学生については、学位取得後、国内外の他大学・他研究機関で主体的に2年間の研究を実施することのできるポスト「SOKENDAI特別研究員(挑戦型)」を学内予算の枠内で準備する。
- 先端研究現場でのOn-the-Job Educationをベースに、「SOKENDAI研究派遣プログラム」や「学内共同研究指導制度」等の組織的な取組によって、学生が主体的に研究に専念できる環境を提供し、キャリア開発やキャリアパス構築を支援する。

博士後期課程学生支援プロジェクト(次世代P)の全体像

SOKENDAI特別研究員(挑戦型)制度

複合型・挑戦型の研究を目指す優秀な学生を採用

SOKENDAI
研究派遣プログラム

基盤を跨ぐ学内
共同研究指導制度

国際共同学位
プログラム

キャリア開発支援
プログラム

大学院教育課程: 5年一貫制・後期3年制 (6研究科20専攻)

(令和5年度に「1研究科・1専攻・20コース」へ改組予定)

- 大学共同利用機関の先端研究現場で博士人材を育成(“On-the-Job Education”)
- 少数の学生に対して個々の学修&研究を複数教員で指導するテーラーメイド教育

● 支援対象となるための条件

SOKENDAI研究派遣プログラム、国際共同学位プログラム、共同研究指導制度のいずれかに参加することを必須条件としている。

● キャリア開発・育成コンテンツ

学内の諸組織と連携して、既存の制度や教育プログラムを活用、あるいは一部を拡充してキャリア開発・育成コンテンツとして提供する。

● プロジェクトのベースとなる教育課程

研究科・専攻の壁を取り払い、分野を跨いだ学修や所属機関の異なる複数の教員による横断的な研究指導を円滑化・促進することで、分野・組織を越えたStudent mobilityを高める。